

第 65 回総会第 1 回被災支援委員会報告

小池 正造 (支援委員)

8 月 6 日に大宮教会を会場に第 1 回被災支援委員会が行われました。

秋山委員長より、教団対策本部の報告がなされました。東北教区では、教区内の教団より借入を受けた教会・伝道所の返済に関して、教区として献金を募り支援する考えがあることが報告されました。この報告を受けて、協議の結果、関東教区でも、同様の教会・伝道所があり、更に教団東日本大震災被災支援募金が終了していることもあり、今後、関東教区でも同様の献金を募ることを検討することになりました。詳細は、今後詰めていきますが、献金の主な使用目的は、①教会再建のため、②耐震診断を希望する教会・伝道所の支援のために用います。募集期間は、1 年間で予定しています。詳細が決まりましたら、改めてご連絡いたしますので、ご協力をお願いします。

小林委員より、教区から派遣するボランティアが、激減していることが報告されました。夏期期間は学生ボランティアの協力が得られますが、それ以外の期間、またキッチンボランティアについては、常に不足状況にあるようです。小林委員が現地仙台エマオを訪れて、近況とニーズを確認してくることになりました。

水戸中央教会の再建について、飯塚統括主任から、7 月末に教会総会が開催され、8 月 30 日に契約を行い、来年 5 月頃に竣工予定との報告がなされました。地面工事の必要が生じたことも報告されました。①初期解体工事で撤去されなかった地下浄水槽の撤去、②旧園舎のトイレ下水処理設備工事、③新規の雨水処理工事が必要となりました。工事の総工費は、1 億 620 万円となりました。このうち、支援申請額を 5,500 万円とし、借入を 1,650 万円となりました。新会堂は、1 階が 169.14 平米、2 階が 64.79 平米となります。

次回委員会は、9 月 8 日 (火) 常置委員会後に行います。

主が建てるのでなければ！

宇都宮上町教会 澤田 武

2015年7月19日（日）、宇都宮上町教会は、教団、教区、地区の皆様の祈りに支えられ、教会員一同喜びと神の守りの内に無事に献堂の日を迎えることが出来ました。ただ感謝です。

主日の午後、ご多忙の中を献堂式にご出席くださり、さらに、励ましのお言葉をいただきました皆様にはまことに感謝いたします。また献堂式のご案内を差し上げた地区、教区、ホーリネスの教会・伝道所、個人から、欠席のお返事に添えて暖かいお祝いと励ましの言葉をいただいたのは、望外の大きな喜び、祈られる幸せを感じました。

東日本大震災被災支援委員会の丁寧なご指導と、日本基督教団「東日本大震災救援募金」から、支援と貸付を受け、また、教会も以前から会堂建築のために積立てておいたものも含めて、準備をしていたものを出し尽くしての献堂となりました。

2011年3月11日（金）の東日本大震災の日、壁が落ち、砂埃で真っ白になった会堂内に立った時、それまで見たことのない光景に愕然としました。それでも電気、水道が止まっていなかったことに、また、近隣の教会員、幼稚園関係者も復旧作業のために集ってくださり、神の祝福と感謝して勇気を得てその日から復旧作業を始めたことを思いだします。

建築工事は土壌の改良工事から始まり、耐震構造のための精密な測量を重ね基礎コンクリートを打ち、柱を立て、建物が形作られて行きました。

献堂式当日、唯一残念だったのは、いざ記念写真という時に雷雨に見舞われ、室内での写真撮影となったことです。しかしそれも雷都と言われる宇都宮ならではの事、皆様の記憶に残る一シーンになったと思います。

献堂記念プレートの一文に「深い感謝と共に、100年後もこの教会がここに立ち続け、神と人ともに仕え、神様の愛が豊かに現れるところとなりますようにと願っています」と記しました。新しい教会堂が地域にも愛され、祈りと賛美が溢れる場となりますよう、どうぞ御加祷ください。

